



明るくやさしさに溢れる石神井中

石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山根 浩孝

平成 30 年 7 月 20 日

第 4 号

将来の夢や目標をもつ

校長 山根 浩孝

梅雨が明け、とても暑い日が続きます。熱中症等、健康管理にはくれぐれも気をつけてください。6 月から 7 月にかけては、練馬区でも多くの部活動の大会が行われました。個人戦、団体戦等、行われる種目も様々ですが、石神井中学校の生徒のすばらしいところは、どの試合でも、最後まであきらめずに一生懸命に競技するところです。たとえ相手が強くても、最後の 1 点、最後の 1 分 1 秒まであきらめず、一生懸命にプレーする姿はとても感動しました。そして、もうひとつ、素晴らしかったことは、競技している選手を応援する生徒たちです。最後まで大きな声援を送り、仲間を励まそうとする姿もたいへん立派だったと思います。特に、三年生にとっては、石神井中学校で積み重ねてきた練習の成果を発揮する最後の機会。たとえ、結果はすべて満足のいくものでなくても、3 年間努力してきたことは、けっして無駄ではありません。身に付けた技術だけでなく、集団を通して学んだ忍耐力や協力、助け合い、仲間の大切さなどをこれからの学校生活にぜひ生かしてほしいと思います。



先月 11 日から 14 日まで、3 泊 4 日で I 組は岩井移動教室へ行きました。初日は、台風の影響で雨模様だったため、鋸山日本寺の登山ハイキングには行けませんでした。練馬中、谷原中との 3 校合同レクリエーションをベルデ岩井の体育館で行いました。一緒にレクを行った 3 校の生徒は、すぐにうちとけて、みんなで協力して、楽しい時間を過ごすことができました。次の日から、天候にも恵まれて、第 2 日目はマザー牧場で、多くの動物たちとのふれあい体験です。3 班に分かれて、ふれあい牧場の散策、アルパカや羊へのエサやり体験等を行うことができました。第 3 日目は鴨川シーワールドへ行きました。イルカ、アシカ、シャチ等のパフォーマンスや動物たち魚たちの食事風景を見学しました。最後には、普段見ることの出来ない水槽の裏側を見学できるバックヤードツアーにも参加することができ、生徒たちにとって貴重な時間を過ごすことができました。最終日には、いきいき体験共和国へ行き、全員で美味しいマーマレード作りを行いました。この 4 日間、I 組の生徒たちは、みんなで協力して、係の仕事をしっかり行うことができました。今回の移動教室は、3 校合同の様々な交流を通して、多くの人たちと仲良くすることができました。他の人たちのことを考えて行動できた I 組の生徒たちは、とても頑張りました。

6 月 27 日(水)～29 日(金)の 3 日間、本校では、生徒会が主体となって、「七夕交流」を行いました。これは、通常級の生徒たちと I 組の生徒たちとの交流を通して、お互いを理解し、より仲良くなることをねらいとしています。学年ごとに曜日を決めて、昼休みの時間に行いました。1 階 PTA 室から I 組棟に向かう廊下には、たくさんの生徒が列をつくり、この取組に参加していました。そして、生徒会役員の生徒たちが用意してくれた短冊に願い事を書き、準備した竹に飾り付けを行いました。「良い成績がとりたい」「試験で合格できま



すように」「部活動でスタメンになる」「楽器をもっとうまくふけるようになりたい」「通常級の生徒との仲が良くなりますように」等、様々な願いが書かれていました。このような取組を通して、より多くの生徒が夢や目標をしっかりともち、それに向かって一日一日努力してほしいと思います。石中生には、夢や目標を達成するために、今何をするべきかをよく考えて、自ら進んで努力できる生徒になってほしいと思います。